

総務市民委員会 会議録

=====
日 時 令和2年2月3日（月曜日）
午前10時00分開会 午前10時41分閉会
場 所 第3委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議事項
「沢辺地区土砂等による土地の埋立て」に関する事案について
 - 4 その他
 - 5 閉 会
-

出席委員（7名）

委員長 島岡 宏明
副委員長 今野 貴子
委 員 久松 猛
委 員 吉田 博史
委 員 吉田 千鶴子
委 員 海老原 一郎
委 員 柴原 伊一郎

欠席委員（1名）

委 員 篠塚 昌毅

説明のため出席した者（1名）

参考人

事務局職員出席

主 査 寺嶋 克己

傍聴者（1名）

男 0名
女 1名

内	田	卓	男	議	員
寺	内	充		議	員
柳	澤	明		議	員
平	石	勝	司	議	員
下	村	壽	郎	議	員
勝	田	達	也	議	員
矢	口	勝	雄	議	員
目	黒	英	一	議	員
田	子	優	奈	議	員

○**島岡委員長** ただ今から総務市民委員会を開催いたします。

本日、篠塚委員が所用のため欠席しております。

本日は、参考人をお招きいたしましての委員会となりました。参考人招致となりますと堅苦しいイメージとなりがちですが、当委員会に付託されております沢辺地区土砂等による土地の埋立事案につきまして、経緯等がわかればと考えております。お招きいたしました・・・の・・・氏におかれましては、今回の件をお願いしたところ、ご多忙にも関わらず快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。限られた時間ではございますが、よろしく願いいたします。それでは委員の皆さん、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○**今野副委員長** 今回の土地の埋立は、いつ・だれからどのように依頼されたのか。教えてください。

○**参考人** 今、資料が警察の方に行ってしまったって、いつという資料がないんですね。警察の方に押収されてまして。頼まれたのが、・・・の友達で親友である方から、自分の方に依頼があったんですね。

○**今野副委員長** それは、・・・ではなく。お友達ということですか。

○**参考人** はい。

○**今野副委員長** それは、どのような流れですか。

○**参考人** あそこは、草がぼうぼうでかなり役所の方から整備しろとか、何とか言われたので、年寄で出来ないと言うことで、家の方で整地してやらなければいけないと、それが自分の所に来たんです。要するに草ぼうぼうだから頼むよということで、ちょっと整地して戻してやってくださいということで、私の方に友達の先生の親友ですよね。この方から依頼が来たんですよ。

○**今野副委員長** ・・・・からの依頼ではなく。お友達から。

○**参考人** そうです。

○**吉田（博）委員** 初めてその方の名前というか。その方が出てくるんですけども、お名前は。

○**参考人** それは全部警察にも話してありますよね。

○**吉田（博）委員** お名前は。

○**参考人** ・・・・というのですが。

○**吉田（博）委員** ・・・・さん。

○**参考人** 警察の方には、仕事上でいろいろあるので名前は言わなかったですけども。直接受けた訳ではないですからね。間接、間接、回って自分のところに来た仕事ですから。

○**今野副委員長** 資料として、私どものところに契約書のコピーが手元にあるんですが、発注が・・・さんになっていて、請け負いが・・・さんになっていますが、これは間違いない。

○**参考人** 契約書上では間違いないですね。

○**今野副委員長** 私の認識が違っていたので。

○参考人 それは警察の方にもちゃんと行ってあります。警察の方にも全部調べ済みだとおもいます。

○今野副委員長 ……さんから……さんにはどのような依頼内容。

○参考人 まあ、手伝ってくださいということですよ。

○今野副委員長 その内容は草を。

○参考人 はい。そうです。手伝ってくださいということで、そういった形でお願ひした。

○今野副委員長 残土搬入の件に関しては全然。

○参考人 全部、……に、こういうのやりますけれど、どうですか。と言ったら、うちはダンプ用意できますよということで、用意してもらいました。そのやつも全部出て来ますけれども。立米幾らで買うということで、土をですね、購入土としてうちで買って、ここに入れた訳です。

○今野副委員長 残土を搬入したという。それをした方というか。流れとしては最初雑草とか。

○参考人 雑草を取ってしまうと低くなってしまいますので、そこへちょっと盛土しましょうかと。

○今野副委員長 盛土というのは、今現在の状況とはちょっと違う。

○参考人 本当は、あれを本当は出す訳だったんですよ。ところが、先生の方から、もう止めてください。というのを受けたんですけれども。自分が台数を掛けてしまったもので、買ってしまったもので、一旦そこまで入れて出すつもりでいたんですけれども。契約がそこでちょっと変わっちゃった訳ですよ。それで全部こっちも赤字食っちゃって。そういう感じなんです。だから今、ちょっと手付けられないんですけれど。先生の方から民事で訴えられれば、これ私完全に受けますけれども。要するに先生自体関係ない事ですから。私がやった事ですから、なんだかんだ、自分の計算ミスもあるし。見積の間違いもあるし。しょうがないですよ。どっちにしても出すって最初はそういう形でやったんですけれども。ちょっと回りまわって。80万で契約してんですけれども。先生の方から中止命令が出たんですけれども。でも買っちゃったもんですから、強引にやっちゃった訳ですよ。

○今野副委員長 ……は、それはまったくご存じない。

○参考人 ないですね。先生の方から止めてくれということは何回もあったんです。でも、自分の方で止めるに止められなくなってしまっ。

○今野副委員長 ……さんがということですか。……さん。

○参考人 やってもらったんですけれども。自分が計算ミスしたものですから、止めるに止められなくなっちゃったんですね。台数を。それは出せばいいやという頭でやったんですけれども。契約上では80万のね。あれでやってくれと言ったんだけど、それがちょっと滞っちゃったりしたんで、自分の方でもお手上げですよ。先生の方から民事で訴えられるのは、甘んじて受けますけれども。でも警察からこうやって訴えられるのはどうかなと思うんですよ。要するに市の方から私の方に何も来ていない訳ですよ。

普通だったらね、停止命令とか事業改善命令とか、いろんな来ますよね書類が。一切来てないです。いきなり告発なんですよ。その前に事情を聴くのが当たり前じゃないですか。市の方で。それがまず一点おかしい。じゃあなんで今回告発したのか。告訴したのか。それもちょっと疑問なんです。狙っているのは、自分じゃなくて・・・になっているんじゃないかと思っているんですよ。・・・を陥れるために狙っているんじゃないですか。そういう感じなんですよ。警察に聞いてもそうです。先生一切関係ありません私がやった事ですよと警察に言いました。誰か責任取らないといけませんね。私がかかります。結構ですよと。これを一緒に先生と自分を組み合わせて先生を悪いもんだとみんな無しているような感じでしょうがないですよ。疑問点いっぱい出て来るんですよ。今回やっていて。なんで私のところに環境課が来て、いつどうやるんですか。こうやるんですか、ああやるんですかと聞かないで直接告訴はおかしいじゃないですか。それも警察に言ったんですよ。じゃあ誰かがね。誰かが・・・を陥れるために、市長のハンコをもらって告発したんじゃないかなと思ったんですよ。おそらく副市長から市長当たりまでハンコいかないとそれは告発出来ないはずですよ。違いますか。

○吉田（博）委員 市長は最終的には行政の責任者は市長ですから市長のハンコがないとそれは出来ない。

○参考人 市長のハンコを出したということは、見切り発進した訳ですよ。ちゃんとした手続きを踏まないで市長のハンコを押した。なんでですか。ということになるんですよ。疑問にあるんですよ。

○吉田（博）委員 ・・さんの今おっしゃった中で、私たち総務市民委員が知らない事がありまして、それは何かというと。警察の方から事情聴取を受けているというのは、我々知らないんですよ。

○参考人 こちらに出る前に、この前警察が来て、書類を全部持って行かれて。私事情聴取を受けているんですから。・・・警察で。土浦と県警の方が来られて、事情聴取を受けたんですから。皆さん知らなかったんですか。

○吉田（博）委員 知らない。

○参考人 耳に入っているのかと思ったんですけど。そこで言ったんですよ。疑問がいくつも出てくるんですよ。この疑問解決してくださいよ。そしたら、私は甘んじて受けますよ。と言ったんですよ。

○吉田（博）委員 ・・・・が市の方から告発をされて、その告発を警察が最終的には受理をしたと。受理をして捜査が始まって、・・・の方にも伺いというような流れですか。

○参考人 そうなんです。先生は関係ないのに、なんで先生のところに行くんですか。ということなんです。自分がやった事ですから、先生は間接的にしかわからない事ですから。・・・の場合は間接的に知っているくらいのもんですから。なんで先生のところに行くのかなと思って。それはおかしいですよ。それは。

○吉田（博）委員 我々執行部からこの話を聞いて、・・・からも聞いて、その中で、市の方から何度も土砂搬入は止めてくださいよと。

○参考人 止めてくださいよと言われた覚えはないですね。来て、世間話をして帰って行きましたよね。

○吉田（博）委員 ……からは。

○参考人 来ました。……からは止めてくれと。でも市の環境課の方からはほとんど止めてくれ、見てちょっとあれだね。ああそうですね。まあ気を付けてくださいねくらいで帰ったんですよ。来るのは昼なんですよ。いつも。なんでかわかります。隣に……さんが居るんです。そこで火燃しているんですよ朝。火を燃しているんですよ。火を燃してきて来ないで。火が消えてちゃんとしてから来るんですよ。本当ですよ。証拠の動画を持ってきました。見ますか。火燃しているところ。

○吉田（博）委員 それはいいです。

○参考人 でも、それを隠すために、自分ところをそうやったんじゃないか。隣は法律ですよ。こっちは条例ですよ。どっちが重たいですか。それを見逃してなんで自分のところに来るんですか。それもおかしい話ではないですか。それは市の職員さんがみんな繋がって見て見ぬふりをしているんじゃないかとそういう疑問を持つじゃないですか。違いますか。こっちを目隠して、こっちは潰すんですか。そういう事を言っているんですよ。それもおかしいし。役所へ隣で火燃してるよと言ったって、朝来た時ないですよ。朝ダンプ一番で入っていますよ。土・日。土・日はそんなに朝早く入れませんから。すぐ来ればいいじゃないですか。火燃しているんだから、隣で。それで来ないですよ。来るのは必ず昼ですよ。おかしいと思いません。それ。

○吉田（博）委員 なるほどね。

○参考人 そういう事もあるし、先生と俺を繋げる。それもおかしいでしょ。なんでここで告訴するんですか。呼び出されるんですか。警察に呼び出されるんですか。まず、こっちが最初でそれから警察じゃないですかというんですよ。それもおかしいでしょ。どう思います。

○吉田（博）委員 残土が今現状すごいですよね。

○参考人 それは、もううちで検討していますからね。

○吉田（博）委員 それは、さっき……さんのお話では、土を全部買っちゃったと。買っちゃったからあそこに置くしかない。

○参考人 すぐ出すつもりでいたんですけども。資金が無くなっちゃった訳ですよ。

○吉田（博）委員 それは……さんの方で。

○参考人 自分の方で。お金動いていませんからね。自分の方が出る一方ですから。

○吉田（博）委員 80万の契約ですよ。……と。80万の契約であれだけの土を買ったというのは。

○参考人 立米5円とか1円の世界です。土というのは。

○吉田（博）委員 そうすると赤字ではなかった。買うのは。

○参考人 はい。ぎりぎりくらいで出来るかなという感じでやったんですけども。おそらく自分で見積を間違えたみたいで。

○吉田（博）委員 土は立米そんな安くても、ダンプで運ぶ訳ですから、大変でしょう。

このお金が。

○参考人 大丈夫。そういうのは全部計算して出しているんですけども。ちょっと自分では資金不足になっちゃって。要するに信用がなくなっちゃったんですよ。騒がれちゃったから。ダンプ屋さんの方でも信用がなくなっちゃったんですよ。出すにしてもダンプ屋さんにも信用がなくなっちゃったから来てくれなくなっちゃったんですよ。はっきり言って。これは本当の話ですよ。

○吉田(博)委員 ……さんの信用がなくなったから、……さんが依頼しても動いてくれない。

○参考人 そうです。資金もないし、そういうことなんですよ。早い話が。検討はしていますけれども出す方向で。やった事はやった事ですから自分は認めます。でも先生は関係ないですから。そういうことです。なんで先生に矢を向けたのかというのが問題なんですよ。

○吉田(博)委員 それは……もおっしゃっていました。

○参考人 でしょう。

○吉田(博)委員 私も被害者ですよ。というような事は言ってはいましたけれどもね。

○参考人 先生から民事で訴えられるのは私はちゃんと受けますよ。でも手続きも取らないで急に警察来た。これどういう訳ですか。まして、こういう委員会にかからない前に警察入って書類全部持って行ったんですよ。こういう会議開かせないためにそういうことをやったんじゃないですかとまたそこも疑問を持つんですよ。

○今野副委員長 総務市民委員会に配布されました市からの事案についてで、経過概略をいただいているんですが、7月18日に近隣住民から通報があったということで、次に19日に早朝ダンプ搬入を確認となっているんですね。で20日も早朝ダンプ搬入を確認。22日も早朝ダンプ搬入を確認となっているんですよ。これを読んだ時には、市の職員が早朝確認しているだなどと思っていたんですが。

○参考人 それは違います。全然違います。市の職員の方は早朝来た時一回もごさいません。警察も言いましたが早朝来た時一回もごさいません。それは環境の方を呼んできて聞いてください。

○今野副委員長 私のメモ書きに6時45分。

○参考人 それは通報が入った時間じゃないですか。

○今野副委員長 そうなんでしょうかね。

○参考人 市の方は一切来ておりません。その時間は大体火燃ししていますんでね。隣でね。

○吉田(博)委員 近隣者からの通報という事ですかね。

○参考人 そうですね。それは。なんですぐに来ないんですか。ということなんですよ。私から言わせていただければ。当然火燃ししているから来れるはずないんですよ。黙認しているんですからね。市の方では。証拠写真も全部ここにありますから。見ていただきます。あとで。廃掃法という法律ですからね。これはあくまでも。法律違反ですから。これはきっちりと取り締まってもらわないと私だって納得いかないですよ。私

は条例ですからね。条例と法律はどっちが重たいかということですよ。まずはね。告訴もおかしいんじゃないか。ということなんです。疑問点、いっぱい出て来るんですよ。警察の方にも悪い口調ですけれども、あなた誰か上とつながって強制的にやられたんじゃないですかと言ったんです。何回も言いましたよ。こんなおかしい事ないだろうって。

○吉田(博)委員 警察の事情聴取は何回か受けたの。

○参考人 一回受けたんです。

○吉田(博)委員 いつ。その何日前。

○参考人 いつだっけな。全部書類が行っちゃってるからわからない。日にちがね。1月の末じゃないかな。警察の方に言っていたらすぐにわかります。書類も全部警察にいらいますので、そこから書類を取っていただければ結構でございます。

○吉田(博)委員 そのことは私たちもさっき知った事なので、その中で、さっき・・・さんがおっしゃったのは・・・じゃなくて、これは全部私がやった事ですよというふうなお話ですと。

○参考人 そうです。やったのは自分ですから。・・・とは直接関わった訳ではないです。間接的ですから。先生は関係ないですよ。それを先生を巻き込むというのは裏で何かあるのって感じですよ。失礼な話、議員の仲間でもやっぱり反目とかはありますよね。陥れるんじゃないかということは、自分は馬鹿でも考えちゃいますよ。議員さんは頭がいいんだからもっと考えるはずですよ。違いますか。

○久松委員 7月12日付で・・・の・・・さんと・・・との間で造成工事請負契約書という手書きの契約書がありますよね。80万。この契約の内容は雑草の伐採と、草刈だね、それから雑木の伐採。それから、これを撤去してもらおうということと、造成に伴う工事というのは、そのへっこんだところを埋めるという。

○参考人 そうです。埋めるということです。少しよけて埋めるという事だったんです。

○久松委員 これを80万で請け負うよというものですよね。

○参考人 そうです。

○久松委員 それで引き受けられて、土砂業者の方に発注した訳だ。発注した時に見積を間違えちゃって、過大に注文しちゃって搬入が始まっちゃったと。始まっちゃったんで、もともと間違っただけじゃなかったんだけど止められなくなっちゃった。

○参考人 そうです。

○久松委員 結果的にそういう形になっちゃった。ということで、基本的には間違っただけ・・・さんの責任ですよ。

○参考人 だから、自分の責任ですよと言っているんですよ。なんで・・・に行くのという話なんですよ。

○久松委員 間違っちゃったんだよね。

○参考人 間違っちゃったから、自分の責任ですよと言っているんですよ。

○久松委員 原状回復の責任も・・・さんが負わなければならないですよ。

○参考人 それはそうです。それはちゃんと考えていますから。今考えて進めて。ただ

先程言ったようにこれだけでもめられちゃったらダンプ屋が来ないんですよ。信用がなくなっちゃった。自分に。それが大事なんですよ。それと資金も80万というのが出ていませんから、資金もない。全部実費でやった訳ですよ。資金もつまります。信用もなくなります。じゃあどうしますか。検討中です。と言うしかないんですよ自分は。前向きで考えていますよと言うしかないんですよ。

○久松委員 いずれ、原状回復する。あのままだと近隣に被害が及ぶ可能性も出てきますから。その辺について具体的に考えて行かないと。

○参考人 原状回復する。今一生懸命考えているところですよ。考えて動いているんですけど、なかなか、失った信用ってなかなか取り戻せないですよ。

○久松委員 期間をおけば置くほど費用は掛かりますよ。

○参考人 わかってます。だから、先生の方から民事で告訴されるのであればしょうがないですねという話をしているんですよ。時間くっちゃっているんですから、しょうがないですねという話です。ただ、なんで警察からやられるのというのが、何の手続きも踏まないで、警察来ました、全部書類持って行きます。取り調べです。書類を持って行かれていたから、ここに出て話す書類が無い訳じゃないですか。何日、何日と言ったってわからないじゃないですか。

○今野副委員長 今後の処理の方法とかは・・・とお話合いとかはなさっている。

○参考人 まだ。こういう状態なんで、会うに会えないじゃないですか。会えばあの二人くっついているとかなんだのかんだの言われるじゃないですか。会うとしても自分の友達を介して会いますよね。中に入れてね。自分と二人では絶対会いませんから。そうじゃないと言った言わないになるじゃないですか。そういうのもありますから。

○吉田(博)委員 我々の委員会は警察じゃないもんですから、これは事実確認をきちっとしないと、議会の立場としてね。

○参考人 聞いていただければ、その答えは出しますけれど。

○吉田(博)委員 細かい内容は、司法の場、警察の方ですから我々はどうかありません。

○参考人 ただ、自分は納得いかないことがいっぱいある訳で、それは市の皆さん、お偉いさんが考えてくれればいいなと自分は思っているだけであって、それも主張しますよね。納得できないことは、市の事ですだから市の皆さんに言われた事は言った方がいいかなと思って、このような口調になっているんですけども。

○吉田(博)委員 我々議会の中でも、一部に今回の件に関しては、市が告発をするのはいやに早いなということを考えている議員さんもいるのはいるんですよ。

○参考人 そうなんですか。

○吉田(博)委員 告発としては、手順としては間違っていないだろうけれども時期的にスピーディーで早いなという印象をもっているというのものもあるのはある。

○海老原委員 搬入した土砂はどのような土砂。

○参考人 普通の砂ですよ。購入土です。

○海老原委員 どこからというのは。

ね。

○参考人 埋立ですけれども、製品になるもの。自分は製品として買ってきている訳ですから。

○吉田（博）委員 製品として買ってきた。

○参考人 買ってきているやつ。製品ですよ。これ、ただで持ってきたら製品じゃない。ちゃんと買ってきているから製品ですよ。

○今野副委員長 買ったものであるから製品だという。

○参考人 製品として出すんですから。除外されるはずですよ。これは。

○吉田（博）委員 すいません。その辺は詳しくないものですから。

○参考人 そんなことで、自分もちゃんと読んで大丈夫な形でやっているつもりですけどね。

○海老原委員 製品ということは、書類がないからあれなんですけれど、どこから買ったとかちゃんと出る訳ですよ。

○参考人 出ます。全部出ます。あとの買っているものも領収書があるので全部出ます。発生場所とか発生元とかね。大丈夫です。

○海老原委員 手元に無いけれど調べればわかる。

○参考人 わかります。自分の方では、そういったことを踏まえてやっていますので、一応条例違反だとは思ってなかった訳ですよ。

○海老原委員 ……さんとのつながりというのかな。

○参考人 昔からいろんな面で力になったり、力を借りたりしている会社ですから。何十年ものつながりです。

○海老原委員 こちらの情報としては、……さんは………。……さんというのは。

○参考人 ……ですよ。……の……。

○海老原委員 会社に行ったりとかはないんですか。

○参考人 もう何十年の付き合いですから。

○海老原委員 会社に行ったことはあるの。

○参考人 ありますよ。それは。やっぱり仕事の関係で行かない訳には行かないですからね。行ったり来たりしていますので。

○島岡委員長 その他何かありますか。

（「無し」という声あり。）

○参考人 すいません。一つだけお願いがあるんですけども、火燃ししている証拠を見てもらえませんか。

○吉田（博）委員 いいですよ。

○参考人 どなたか。

○吉田（博）委員 委員長。

○島岡委員長 私と副委員長で。じゃあ。みんなで。

（委員長席の周りに集まる。）

○参考人 ちょっと待ってくださいね。これ……ですよね。これですよね。ユンボ入ってますよね。火燃しですよね。全部入っていますよね。

○島岡委員長 これ何時頃。

○参考人 朝。完全な火燃しですよ。自分ら上から取ったんですから。ほら。これですよ。いろいろ突っ込んで。

○吉田（博）委員 これは日常的にやっているということ。

○参考人 そうですね。日常的ですよ。

○島岡委員長 何を燃しているんですか。

○参考人 廃材。

○吉田（博）委員 建築廃材だな。

○参考人 建築廃材を燃しているんですよ。もう一個あります。ユンボの隣。煙だっ出ていないですか。間違いのない証拠ですよ。これ黙っている訳ですよ。指導も何も行かない訳ですよ。これ。だから来るのは昼頃なんですよ。

○吉田（博）委員 そこまでやってると普通は近隣から。

○参考人 地元だからそういうのは無いんじゃないですか。自分らはよそ者ですからそういうのはあります。

○吉田（博）委員 ……は地元だからと。

○参考人 そうです。はい。

○吉田（博）委員 通常はそこまでやっていたら近隣から通報はありますよね。

○参考人 あります。でもこれは事実ですから。朝早く。それだから朝早く通報を受けても来られないのがそこにあるんじゃないですか。

○久松委員 それは早朝ですか。

○参考人 早朝です。早朝。朝早いんですよ。自分ら消し始めると、警察とかにいろんな電話を入れる訳ですよ。だから自分も言ったんですよ。火燃ししてますよ朝早く来れば隣もやっているからと。一回も来たことがない。その時点でおかしいじゃないですか。条例と法律とどっちが大事ですかと自分が言うんですよ。

○海老原委員 まず初めに、伐採をした訳ですよ。その伐採したものはどうしたんですかね。

○参考人 出しちゃいましたね。木が無かったですから。ほとんど。

○海老原委員 どこに出したの。

○参考人 ほとんどが草でしたから。草は全部分けて、脇に載せてあります。

○海老原委員 じゃあ。出していない。

○参考人 出していない。出していない。

○海老原委員 あの中に、全部処分しちゃったの。

○参考人 あの中じゃなくて、あの上に。みんな載せてあります。要するに発生土がでますよね。かき上げて脇に載せています。

○海老原委員 じゃああの中に入っているの。

○参考人 入っているって。上に載っていますよ。入れたと言ったら怒られちゃうので、

上に載っていますから。今もちゃんとやっていますから大丈夫。

○吉田（博）委員 委員長いいだろう。

○島岡委員長 何かございますか。

（「無し」という声あり。）

○柴原委員 今の土は検査はしてあるのか。

○参考人 検査して大丈夫ですよ。書類も全部出しても大丈夫ですよ。

○柴原委員 市の方へ出す時は必要なんだよね。

○参考人 そうそう。あくまでもさっき言ったとおり、第2条の何項かにありますよね。うちは製品として買っている訳ですから、そうすると全部でますから。ただ本当に信用なくなっちゃったからね。今回の現場で。他ダンプ呼びますよと言ってもどこも来てくれないですから。だから自分も困っちゃっているんですよ。

○柴原委員 大体、あの土は何時頃から搬出出来ますか。

○参考人 搬出ですか。それはちょっと約束出来ませんが。はい。今一応話は進めていますので。決まればこっちにも連絡いたしますよ。・・・を通して連絡するかもしれませんが・・・が一番の被害者ですから。先生を通じてお話す。何しろ今検討していますので。

○吉田（博）委員 それはよろしくお願いします。

○島岡委員長 搬出が我々は心配なんで、それをきっちりやっていただいて。

○参考人 はい。

○島岡委員長 それでは委員の皆さんよろしいですか。

（「はい」という声あり。）

○島岡委員長 ・・さんから何か。

○参考人 もう大体言いましたんでね。先生方が納得していただければそれで結構ですから。

○島岡委員長 よろしいですか。

（「はい」という声あり。）

○島岡委員長 ない様でございますので、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。参考人は退室していただいて結構です。お疲れ様でした。

（参考人退室）

○島岡委員長 ただいまの話は、そういう話でございますので、これを今後どのように、今聞いているのが、執行部からの話、・・・からの話、今業者の・・・さんからの話と。これをもって3者から聞いたということで、どのようにして議員のみなさんに報告をしていくかということでございますが。

○柴原委員 担当課はすぐに来なかったと言っていた。担当課にもう一度聞いた方がいいんじゃないか。

○島岡委員長 役所からは何回か聞いてはいるんですよ。

○柴原委員 条例とか言っていたよね。

○島岡委員長 製品の製造又は加工のための原材料のたい積を除くということで、これ

は条例違反でもなんでもないということを今おっしゃられていた訳ですけどもね。

○吉田（博）委員 ただ、それは鵜呑みにしてはいけないぞ。

○久松委員 どこ。

○島岡委員長 2条の2です。これがあるから条例違反じゃないと。

○海老原委員 いないから言うけど、間違いないと言っているけど、こちらではわからない。書類がないんだから。

○吉田（博）委員 条例でもなんでも、解釈の違いというのがあるんだよ。だから解釈の違いによってはマルにもなるバツにもなるというのがあるから、それは不用意に俺らが手を出しちゃいけない。

○島岡委員長 まあ、そういう事を言いたいのかなと私は受けたんですけども。

○今野副委員長 ・・さんがあれだけはっきりと自分が勝手にやったということをおっしゃっていたので、その辺ちょっと食い違っていますよね。だから総務市民委員会としては、どういう告訴を市が告訴状の内容だったのかということのをコピーを見せてもらうとかそういうことを総務市民委員会としては出来ないのですか。あまりにもちょっと内容が違う。今・・さんがおっしゃったことと、ちょっと違うなという感じがするのでその辺しっかり事実確認はする必要があるんじゃないでしょうか。

○島岡委員長 あとは憶測とか、どうだこうだということになってしまいますので、3者から聞いた内容をありのままに議員の皆さんに報告する場を持ったらいかがかなと思うんですけど。

○吉田（博）委員 だから、今日の・・さんは、もう警察にも事情聴取を受けて、・・・・じゃなくて、私がやったんだということを認めてるということと言ったんだから、それはそれで報告すればいいじゃない。そのまま報告すればいいじゃない。

○久松委員 そのまま。

○吉田（博）委員 そのように参考人は言っていたと。あとは警察の方でやっているんだから、その先は司法に任せましょうと。委員会としてやることはやったんだからいいんだよ。

○島岡委員長 その報告を次の議会でした方がよろしいでしょうか。

○吉田（博）委員 もちろん。

○島岡委員長 次の議会で全員協議会、議運の方にこの件をちょっと上げさせてもらって、判断を仰ぐということでよろしいでしょうか。

○吉田（博）委員 そうそう。

○海老原委員 一点だけ、警察でやっているのは、残土条例違反の件でやっているのか。

○吉田（博）委員 市から告発されたから。

○海老原委員 告発は残土条例違反なのかどうかそれを確認だけしたい。

○吉田（博）委員 それは警察にするしかない。

○今野副委員長 いずれ撤去命令とか出るかと思うのですけれども、その対象者は誰になるのか。

○吉田（博）委員 それは俺らはわからない。それは俺らがどうこう言うものじゃない。

○島岡委員長 それではこちらの件をまとめさせていただきますして、総務市民委員会でのこの件についての報告書の作成をもって議運の方にこのような報告ですけれどもということで報告をさせていただいて、お答えをいただくということでよろしいでしょうか。

○吉田（博）委員 全協でやるとね。それでいいでしょう。

○島岡委員長 いいですか。

（「はい」という声あり。）

○島岡委員長 それでは、よろしくお願いたします。もう一度言いますと、今日までの事実を率直に報告書とさせていただき、それを議運を通して議会の方に持って行かせていただいて、私が報告をするという流れでやらさせていただきますのでよろしくお願いたします。今後の流れが決まったということで、以上で総務市民委員会を閉会いたします。

○久松委員 雑談で、契約を・・・と80万で交わしたでしょ。伐採して雑草の整地。それを引き受けて、土砂の購入を注文した訳ですよ。その注文のを間違えちゃったって言うんでしょ。間違え方もさ甚だしい間違えだよ。

○島岡委員長 そんなことあり得るのかというくらいの。

○久松委員 あり得ないじゃないかと思うんだよ。

○吉田（博）委員 それは警察で追及すればいいんだよ。どういう計算をしてやったんだと。

○島岡委員長 我々はそこまで。

○吉田（博）委員 わかんない。俺らにはわからない。

○久松委員 ただ、そういう疑問が残るという事。

○吉田（千）委員 今のお話で一番先に発注されたのはこの契約書。この契約書にやはり・・・の名前で発注をしているんですよ。それではないと一生懸命おしゃっていたけれど。そこもね、我々警察じゃないのでそれを追求してどうのこうのという事はないので、今はとにかくおっしゃったことを伺ったという状況でそれを速やかに先程のお話のように伝えるということしかないですよ。委員会としてはね。

○吉田（博）委員 ここは百条委員会じゃないから虚偽の発言をしても何の罰則もないから。そういう体制で我々もお話を参考に伺ったということですよ。しょうがないんだよ。そこまで。

○海老原委員 資料No. 2の中に、措置命令書というのがあるんだよ。これは撤去してください。その対応については、現在は何も行われていないということでもいいんだよ。まずね。

○島岡委員長 そうですね。

○海老原委員 そこだけ。

○久松委員 ちょっとさ。第2条の（2）の彼が盛んに主張していた製品の製造又は加工のための原材料のたい積を除くというものでということで、これ解釈をさ執行部から聞きたいね。改めて会議を持つ必要はないけれど。

○吉田（博）委員 聞いてもいいけど、わからないぞ。

○久松委員 聞いてみないと・・・さんは・・・さんで解釈している訳だから。残土条例の届出をしなくてもいいと思ったと言う訳だから。

○吉田（博）委員 その辺もな。

○島岡委員長 今じゃなくていいですか。

○吉田（博）委員 定例会の事前の委員会があるから。

○久松委員 その時でいい。

○島岡委員長 ということで総務市民委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。